



2019年7月29日

各 位

会社名 美樹工業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 岡田 尚一郎
 (JASDAQ コード番号: 1718)
 問合せ先 常務取締役管理本部長 魚澤 誠治
 TEL 079-281-5151 (代表)

第2四半期業績予想と実績値との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2019年12月期第2四半期の連結及び個別業績予想と実績値との差異についてお知らせいたしますとともに、最近の業績の動向等を踏まえ、2019年2月13日に公表いたしました通期の連結及び個別業績予想の修正につき、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2019年12月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績値との差異 (2019年1月1日～2019年6月30日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 連結四半期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	15,000	550	550	330	301.85
今回実績 (B)	15,618	861	867	556	508.79
増減額 (B-A)	618	311	317	226	—
増減率 (%)	4.1	56.6	57.7	68.6	—
(参考) 前期第2四半期実績 (2018年12月期第2四半期)	13,847	652	646	356	326.11

2. 2019年12月期通期連結業績予想数値の修正 (2019年1月1日～2019年12月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	30,000	1,000	1,000	630	576.27
今回修正予想 (B)	31,000	1,200	1,200	1,120	1,024.47
増減額 (B-A)	1,000	200	200	490	—
増減率 (%)	3.3	20.0	20.0	77.8	—
(参考) 前期実績 (2018年12月期)	29,470	1,320	1,292	712	652.02

3. 2019年12月期第2四半期個別累計期間業績予想と実績値との差異（2019年1月1日～2019年6月30日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	7,500	400	270	246.97
今回実績（B）	8,488	730	508	464.91
増減額（B－A）	988	330	238	—
増減率（％）	13.2	82.6	88.2	—
（参考）前期第2四半期実績 （2018年12月期第2四半期）	7,739	748	404	369.66

4. 2019年12月期通期個別業績予想数値の修正（2019年1月1日～2019年12月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	15,500	800	550	503.09
今回修正予想（B）	16,000	1,000	1,050	960.44
増減額（B－A）	500	200	500	—
増減率（％）	3.2	25.0	90.9	—
（参考）前期実績 （2018年12月期）	16,224	1,115	643	588.99

5. 差異及び業績予想修正の理由

当第2四半期連結累計期間及び個別累計期間の業績につきましては、当社の建設事業セグメントにおいて、工事進行基準による完成工事計上対象物件の進捗率が当初予想を上回ったことに加えて、原価の見直しにより収益率が改善したことや、繰延税金資産に対する評価性引当額の戻入を考慮したことから、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益がそれぞれ前回発表予想を上回る結果となりました。

また、2019年12月期通期連結及び個別業績予想につきましては、工事進行基準による完成工事計上対象物件の期末までの進捗率を見直すとともに、本日開示した「固定資産の譲渡及び特別利益の計上に関するお知らせ」に係る特別損益等を加味し、当該保有不動産売却による繰延税金資産に対する評価性引当額の戻入を考慮したことによるものです。

※ 業績予想につきましては、発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上